

ノムラ・エマージング・オープン

追加型投信／海外／株式

設定来の運用状況と今後の見通しについて

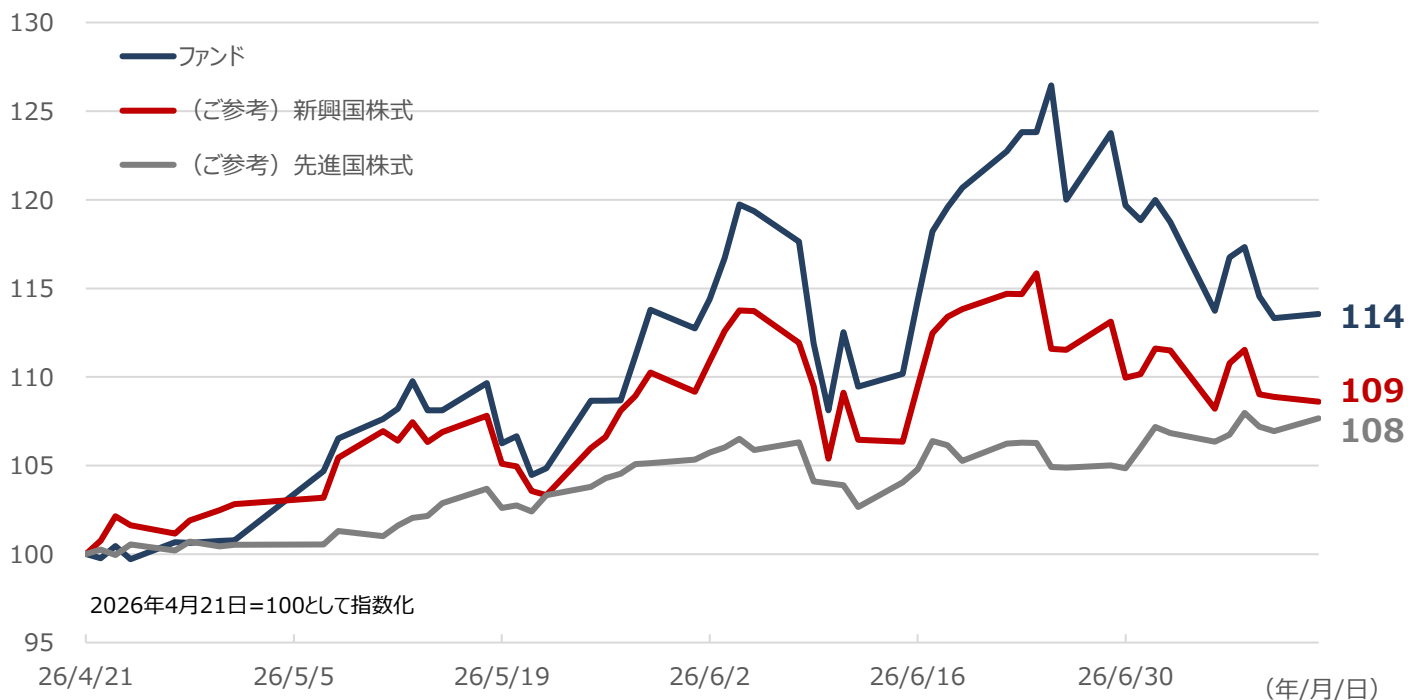
平素より「ノムラ・エマージング・オープン」（以下、ファンドといいます。）をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。ファンドの設定来の運用状況と今後の見通しについてご説明いたします。

設定来の運用状況について

ファンドの設定日（2026年4月21日）以降、世界の株式市場は概ね上昇基調で推移しました。先進国株式が米国の半導体関連企業の好業績や米国とイランの軍事紛争終結の期待の高まりなどを背景に上昇する中、新興国株式は、AI関連需要の拡大を背景に半導体メモリ企業の株価が力強く推移し、先進国株式を上回って上昇しました。こうした環境下で、ファンドは半導体メモリ企業の株価の上昇などもあり、新興国株式を上回って推移しました。一方、6月下旬以降は、前述の半導体メモリ企業の株価が反落する中で、ファンドの基準価額はやや軟調に推移しました。

次ページ以降、足元の半導体メモリ企業の株価などの状況と当戦略（ファンドが投資対象とする外国投資法人「ノムラ・ファンド・ソリューションズーノムラ・エマージング・マーケット・ファンド」（投資対象ファンド）が用いる運用戦略）を担当するノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル（NAMI）の運用チームの見通しについてご説明いたします。

設定来のパフォーマンス推移



期間：2026年4月21日～7月13日、日次

ファンドは基準価額を使用しています。上記期間において、分配金実績はありません。

新興国株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）、先進国株式：MSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）

当該インデックスはいずれもファンドのベンチマークではありません。

（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

半導体メモリ企業を取り巻く環境と運用チームの見通し

当戦略は、「企業の競争力」、「構造的な成長機会」、「耐久力のある事業基盤」という3つの視点で評価した「持続可能な競争優位性」を有する企業に投資を行なう点に特色があり、そのうち「構造的な成長機会」については、その企業が各国あるいは世界的な構造変化の恩恵を受けることができるかという視点で企業を評価しています。

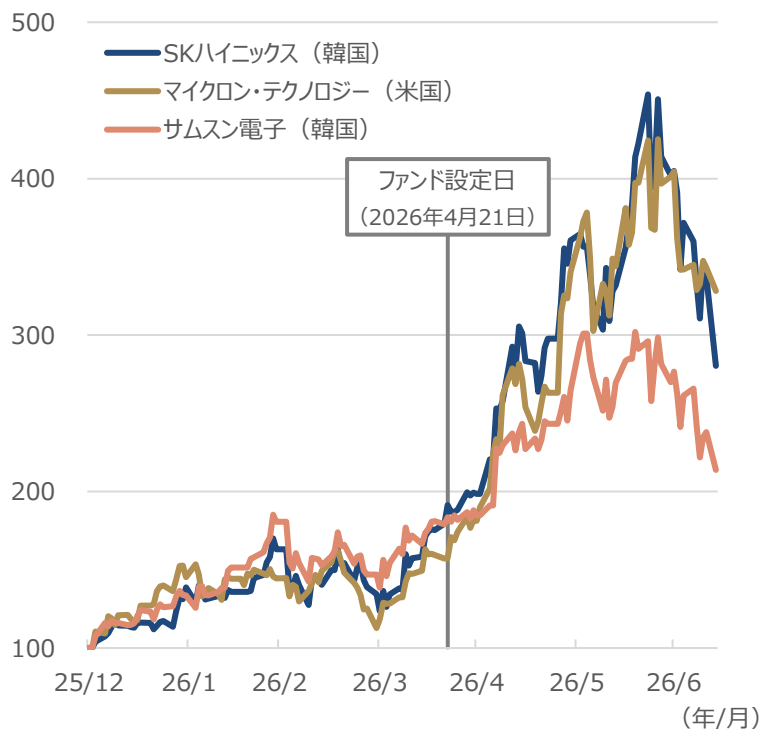
運用チームは当戦略の運用開始来様々なトレンドに着目し投資を行なってきましたが、現在は「デジタル化」に最も注目し、AI関連需要の拡大により大きな恩恵が期待される半導体メモリ企業のSKハイニックス、サムスン電子、マイクロン・テクノロジーなどに投資しています。

上記3社の株価は、AI関連需要の拡大などを背景にファンド設定日以降も上昇しましたが、6月下旬以降、大幅な株価上昇を受けて利益確定の動きが出やすい地合いの中、半導体関連の工場新設に関する報道などを受けた需給バランスに対する思惑や、一部企業が好決算となるも利益確定と見られる売りが広がったこと、米国のAI・半導体関連銘柄の反落などを受けて、各社の株価は反落しました。

そうした中でも、運用チームは引き続き半導体メモリ企業に対して強気な見通しを持っています。前述の新設工場による供給開始は2028年以降となると見込まれていますが、半導体メモリ企業は顧客との間で2028年以降もカバーする長期契約を締結しているケースが多く、メモリの供給不足が短期間では解消しないことを示唆していると考えています。また、各社が長期契約の中で、最低価格や購入量などを定めている点も、ポジティブに評価しています。

また、上記3社の予想PER（株価収益率）は、株価上昇後も依然として割安な水準にあるとみており、バリュエーション（投資価値評価）の面でも投資妙味があると考えています。

半導体メモリ企業の株価推移



期間：2025年12月31日～2026年7月13日、日次
2025年12月31日時点の株価（現地通貨ベース）を100として指数化
ファンドは主に新興国の企業を投資対象としますが、新興国からの収益の多い先進国なども投資することがあります。
（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

半導体メモリ企業の予想PER

SKハイニックス	3.5倍
サムスン電子	4.2倍
マイクロン・テクノロジー	6.4倍

ご参考：株式指数

新興国株式指数	11.4倍
先進国株式指数	19.7倍

2026年7月13日時点
新興国株式指数：MSCIエマージング・マーケット・インデックス
先進国株式指数：MSCIワールド・インデックス
予想PERはブルームバーグ算出の今後12ヵ月先の予想値
（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
上記は当資料作成時点におけるNAMIの運用チームの見解であり今後変更される場合があります。
上記は投資対象ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

投資事例のご紹介 -SKスクエア

韓国の持株会社「SKスクエア」についてご紹介いたします。

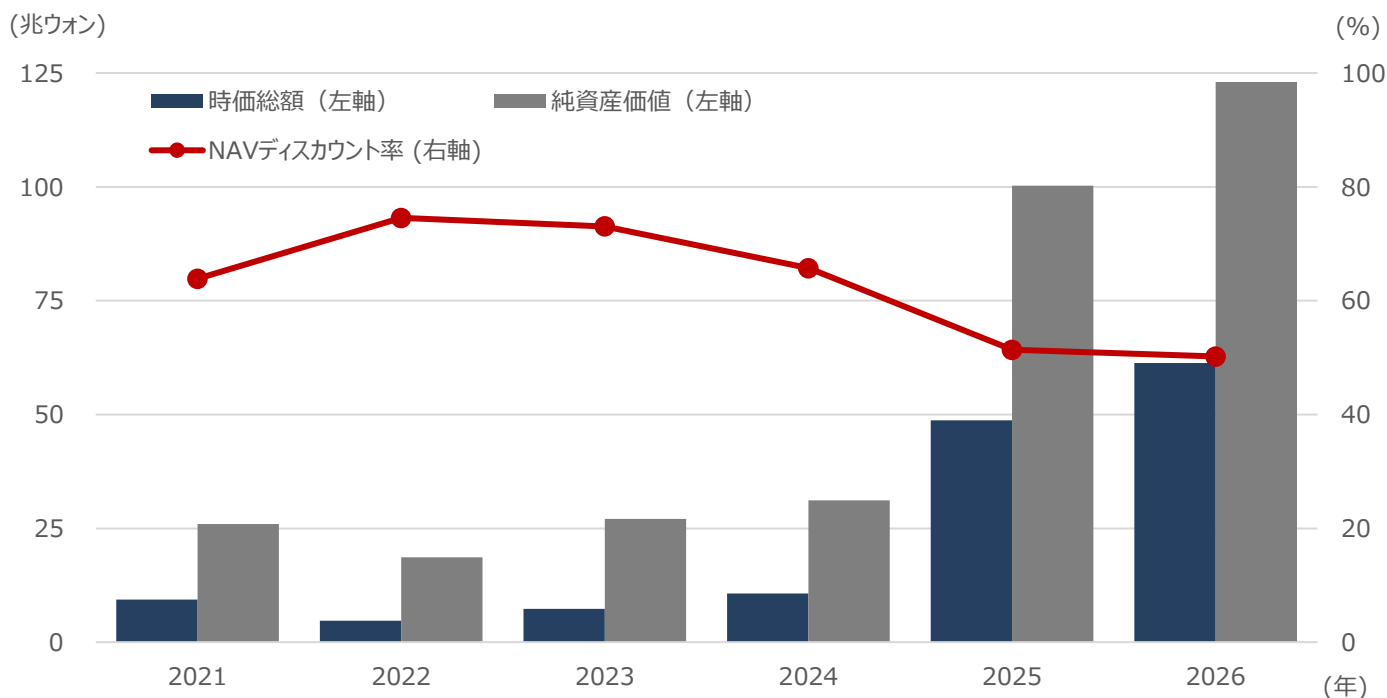
SKスクエアは前述の半導体メモリ大手「SKハイニックス」の株式などを保有するSKグループの投資・持株会社です。同社はSKハイニックスをはじめ様々な株式を保有していますが、同社の株価は保有株式のNAV（純資産価値）に対して、大きくディスカウント（割引き）された状態が続いていました。

一般的に新興国企業は先進国企業に比べて、コーポレートガバナンスや情報開示が不十分であったり、相対的に市場の流動性が低いことなどから、割安に評価される傾向が見られますが、韓国株式についても、家族経営による財閥支配に起因したガバナンスの脆弱さなどから、主要国の株式市場と比べて割安に評価されていました。こうした現象は「コリア・ディスカウント」と呼ばれ、韓国株式市場の課題として捉えられており、韓国政府はその解消に向けて2024年に「企業バリューアップ・プログラム」を発表し、企業が企業価値向上計画を策定・開示するように促し、価値向上に取り組む企業に対して税制優遇や税務調査の猶予などのインセンティブを与える施策を導入しました。

これを受けてSKスクエアは、「企業価値向上計画（Value-up Plan）」を公表し、NAVディスカウント（企業の純資産価値よりも株式市場での評価が低い状態）の解消に向けて、株主還元の強化や追加の自社株買い、資本効率の改善などを進めています。その結果、足元のNAVディスカウント率※は50%程度まで縮小傾向にあり、SKハイニックスの業績拡大で純資産価値が押し上げられる中、SKスクエアの経営改革と株主還元が進めば、ディスカウントの解消による株価の上昇が期待できると運用チームは考えています。

※ 持株会社などの企業価値を評価するために用いられる指標で、企業の純資産価値に対して市場での時価総額がどの程度割安に評価されているかを示す。

SKスクエアの時価総額、純資産価値とNAVディスカウント率



期間：2021年～2026年（各年末時点、2026年は3月末時点）、年次
（出所）ブルームバーグ、SKスクエアの公表データを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
上記は当資料作成時点におけるNAMIの運用チームの見解であり今後変更される場合があります。
上記は投資対象ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

ファンドの特色

1

新興国の株式を含む有価証券等を実質的な主要投資対象^{※1}とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

※1 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や投資信託証券を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

2

外国投資法人である「ノムラ・ファンド・ソリューションズーノムラ・エマージング・マーケット・ファンドークラスI3(円建て)」および別に定める投資信託証券(以下「指定投資信託証券」といいます。)に投資します。なお、指定投資信託証券^{※2}は新興国の株式、または残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資します。

※2 指定投資信託証券とは、投資信託説明書(交付目論見書)の追加的記載事項に記載する投資信託証券を指します。
新興国の株式に投資する指定投資信託証券は、上場投資信託証券とし、資金動向等により投資する場合があります。

ファンドが投資対象とする外国投資法人である 「ノムラ・ファンド・ソリューションズーノムラ・エマージング・マーケット・ファンドークラスI3(円建て)」の主な投資方針

- ・新興国の企業(新興国から収益を得ているグローバル企業等も含みます。)の中から、厳選かつ分散された株式を中心に投資を行ない、信託財産の長期的な成長を目標に運用を行なうことを基本とします。
- ・投資銘柄の選定にあたっては、ボトムアップアプローチを通じて、本源的価値に対して割安に取引されている、競争優位性等を有する企業を選定します。
- ・新興国の株式への投資割合は、ファンドの純資産総額の80%以上とします。
- ・フロンティア諸国(新興国よりも発展途上段階にある国)の株式へ投資する場合があります。
- ・新興国の株式を中心に投資を行ないませんが、以下に該当する場合は、新興国以外の企業に投資する場合があります。
 - ・新興国市場での成長機会が当該企業または当該業界の業績に影響すると運用会社が判断する場合
 - ・新興国において適切な投資機会が存在しないと判断する業種に関するエクスポージャーを維持すべきと運用会社が判断する場合
 - ・当該投資が運用成果の向上に寄与する可能性があるとして運用会社が判断する場合

3

通常の状況においては、「ノムラ・ファンド・ソリューションズーノムラ・エマージング・マーケット・ファンドークラスI3(円建て)」への投資を中心とします^{※3}が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※3 通常の状況においては、「ノムラ・ファンド・ソリューションズーノムラ・エマージング・マーケット・ファンドークラスI3(円建て)」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

◆指定投資信託証券は適宜見直しを行ないます。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れたり、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合もあります。

4

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等を実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス、MSCIワールド・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権、その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜当資料について＞ ●当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

＜お申込みに際してのご留意事項＞ ●ファンドは、元金が保証されているものではありません。●ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。●ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。●お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：
野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル
☎0120-753104 <受付時間>営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ
<https://www.nomura-am.co.jp/>



お申込みメモ

● 信託期間	無期限(2026年4月21日設定)
● 決算日および収益分配	年2回の毎決算時(原則、4月および10月の16日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。 *初回決算日は、2026年10月16日となります。
● ご購入時	● ご購入価額 ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
	● ご購入代金 原則、ご購入申込日から起算して6営業日目までに販売会社にお支払いください。
	● ご購入単位 一般コース(分配金を受取るコース):1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース(分配金が再投資されるコース):1万口以上1口単位または1万円以上1円単位
	*原則、ご購入後にコースの変更はできません。 *詳しくは、野村證券にお問い合わせください。
● ご換金時	● ご換金価額 ご換金申込日の翌々営業日の基準価額
	● ご換金代金 原則、ご換金申込日から起算して6営業日目から販売会社でお支払いします。
	● ご換金制限 大口換金には制限を設ける場合があります。
● その他	● お申込不可日 販売会社の営業日であっても、以下のいずれかに該当する場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。 ・お申込日当日またはお申込日翌営業日がルクセンブルクの銀行の休業日の場合 ・お申込日当日が以下①～⑤のうち複数に該当する場合 ・お申込日翌営業日が以下①～⑤のうち複数に該当する場合 ① ニューヨーク証券取引所またはナスダック証券取引所の休業日 ② 香港取引決済所の休業日 ③ 台湾証券取引所の休業日 ④ 韓国証券取引所の休業日 ⑤ ボンベイ証券取引所またはインドのナショナル証券取引所の休業日
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。ファンドはNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに係る費用

(2026年7月現在)

● ご購入時手数料	ご購入代金*に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額	
	ご購入代金	ご購入時手数料率
	1億円未満	3.3%(税抜3.0%)
	1億円以上5億円未満	1.65%(税抜1.5%)
	5億円以上	0.55%(税抜0.5%)
	※ご購入代金=ご購入口数×基準価額+ご購入時手数料(税込)	
● 運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。	
	●純資産総額に年1.188%(税抜年1.08%)の率を乗じて得た額	
	●実質的にご負担いただく信託報酬率(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加えた概算値): <u>年1.738%程度(税込)</u>	
	※ファンドがETFに投資する場合は、上記の信託報酬に加え、投資するETFに関連する費用がかかりますが投資するETFとその比率があらかじめ定まっていないため記載することができません。	
● その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 (運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)	
	●組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料	
	●外貨建資産の保管等に要する費用	
	●監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用	
	●ファンドに関する租税	
● 信託財産留保額(ご換金時)	ありません。	

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

NOMURA 野村證券

商 号: 野村證券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人資産運用業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会/
一般社団法人日本STO協会

設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商 号: 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

お申込み・投資信託説明書
(交付目論見書)のご請求は